

地域イノベーション学 研究科

地域の産業界と連携した教育で 高度な専門的職業人を輩出。

地域イノベーション学 研究科は、プロジェクト・マネジメントができる研究開発系人材の育成を目指して開設されました。
地域の産業界と共同研究プロジェクトを進め、特色ある教育を展開していきます。

地域イノベーション学 研究科

三重大学は平成21年4月に第6研究科として学部を持たない独立研究科の「地域イノベーション学 研究科」を開設しました。地域イノベーション学 研究科は、「プロジェクト・マネジメントができる研究開発系人材」の育成を通じて、地域発のイノベーションを担う人材を地域社会に輩出することが期待されています。博士前期課程と博士後期課程を同時に設置し、定員は前期10名、後期5名の少人数ですが、既存の研究科とは異なる人材を育成する予定です。

本研究科の特色は、地域社会のニーズを共同研究プロジェクトとし、産業界との連携を通じた人材教育を行うことで、以下のすべての能力を備えた「高度な専門的職業人」の輩出を目標とする点にあります。

- 1) 高度な研究開発に関する能力
- 2) 研究開発のプロジェクト・マネジメントに関する能力
- 3) グローバル化に対応した国際感覚

このように最先端分野の技術に関する幅広い知識はもちろん、社会にあふれるさまざまな情報から「社会ニーズを読み取る」ことで、新製品についての構想を生み出すとともに、アイデアを製品化するための研究開発を起案し、実行していくマネジメント能力を持つ人材は、今後の地域社会の発展を支えていくはずで

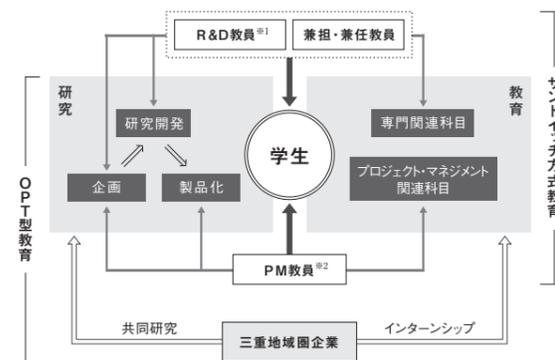
[教育方法の特色]

本研究科の教育方法の特色は、(1)OPT (On the Project Training) 型教育 (2)サンドイッチ方式教育、の2つです。OPT型教育では、地域社会と三重大学との共同研究プロジェクトを題材に、大学院での「特別研究」として遂行することで、実践的な問題発見・解決能力を育みます。またサンドイッチ方式教育では、①基礎研究開発能力の養成を担当する専門教員 (R&D教員) と、②プロジェクト・マネジメント能力の養成を担当する専門教員 (PM教員) の2種類の異なるタイプの教員の指導を受けながら、研究開発することで、多面的な視点から1つの共同研究プロジェクトを実施することができます。このような教育体制は、共同研究件数が全国トップレベルである三重大学だからこそ、実施可能になったものです。



総合研究棟内に開設された、地域イノベーション学 研究科。

◎OPT型教育とサンドイッチ方式教育



*1 基礎研究能力の養成を担当する教員
*2 プロジェクト・マネジメント能力の養成を担当する教員

三重大学 地域イノベーション学 研究科

<http://www.mie-u.ac.jp/innovation/>

お問い合わせ先
TEL:059-231-9632 / FAX:059-231-9635
info@innov.mie-u.ac.jp

T O P I C S

三重大学の研究と研究活動を通じた社会との連携

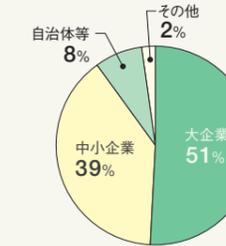
三重大学は教育と研究の成果を社会に還元するために、産業界や地域の公共団体との共同研究等の連携活動を推進しています。大学は、この連携によって、地域の文化の向上や活性化に貢献していきたいと考えています。

◎平成20年度共同研究の分類

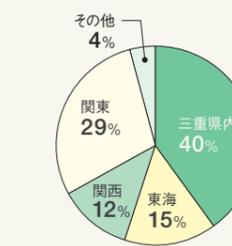
共同研究総計

件数 247件
金額 4億2628万5829円

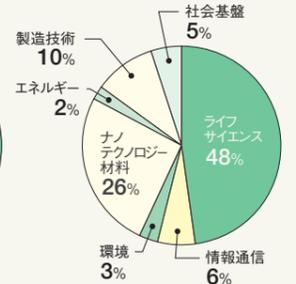
共同研究相手先の規模等



共同研究相手先の所在地



共同研究の分野



◎平成20年度共同研究 (件数による順位)

[件数による順位]

順位	法人名	共同研究件数(件) []内は中小企業	件数に占める 中小企業割合
1	東京大学	1,008 [164]	16.3%
2	京都大学	766 [89]	11.6%
3	大阪大学	764 [111]	14.5%
4	東北大学	698 [109]	15.6%
5	国立高等専門学校機構	582 [256]	44.0%
6	九州大学	579 [107]	18.5%
7	東京工業大学	447 [50]	11.2%
8	北海道大学	413 [63]	15.3%
9	名古屋大学	390 [49]	12.6%
10	筑波大学	335 [101]	30.1%
11	千葉大学	287 [53]	18.5%
12	広島大学	274 [51]	18.6%
13	東京農工大学	267 [84]	31.5%
14	信州大学	267 [91]	34.1%
15	神戸大学	265 [46]	17.4%
16	静岡大学	249 [98]	39.4%
17	三重大学	247 [113]	45.7%
18	名古屋工業大学	220 [35]	15.9%
19	岡山大学	219 [65]	29.7%
20	岐阜大学	216 [94]	43.5%

[金額による順位]

順位	法人名	共同研究受入額 (千円)
1	東京大学	4,552,846
2	京都大学	3,469,663
3	大阪大学	2,596,773
4	九州大学	2,121,431
5	東北大学	2,085,998
6	東京工業大学	1,787,062
7	名古屋大学	1,114,206
8	北海道大学	1,077,786
9	筑波大学	857,377
10	広島大学	778,981
11	東京農工大学	625,436
12	山口大学	597,861
13	千葉大学	581,467
14	神戸大学	564,172
15	名古屋工業大学	547,786
16	三重大学	549,628
17	徳島大学	463,004
18	岡山大学	431,950
19	信州大学	363,128
20	国立高等専門学校機構	362,188

(「総合科学技術会議(第77回) 議事」の資料4-1-3の23より)

◎平成21年度大型研究 (1,000万円以上の共同研究、受託研究)

事業名	研究題目	契約・寄附相手方社名	学部等名	研究担当代表者
○次世代自動車用高性能蓄電システム技術開発 ○次世代技術開発 ○次世代技術開発	○次世代自動車用高性能蓄電システム技術開発 ○次世代技術開発 ○リチウム空気二次電池用リチウム - 固体電解質複合負極の研究開発	○独立行政法人新エネルギー・産業 技術総合開発機構	工学研究科	今西誠之
○戦略的創造研究推進事業	○糖代謝恒常性を維持する細胞の形態学的解析	○独立行政法人科学技術振興機構	医学系研究科	溝口明
○平成21年度地域科学技術 振興事業委託事業	○高効率光・パワーデバイス部材の開発	○財団法人科学技術交流財団	工学研究科	平松和政
○重点地域研究開発推進プログラム (研究開発資源活用型) ○独立行政法人科学技術振興機構からの 再委託(継続)	①アコヤ貝のミトコンドリア活性を指標とした 効率的選抜育種技術の開発 ②アコヤ貝の効率的挿核手術支援技術の開発 ③アコヤ貝のキャッチ収縮解明による 育種支援技術の開発	○三重県	生物資源学研究科	古丸明
○産学官連携戦略展開事業	○戦略展開プログラム (特色ある優れた産学官連携活動の推進)	○文部科学省	社会連携研究センター	西村調弘
○生物系産業創出のための 異分野融合研究支援事業	○ヤママリンの各種誘導体の分子設計と合成	○独立行政法人農業・食品産業技術 総合研究機構生物系特定産業 技術研究支援センター	生物資源学研究科	今井邦雄
○都市エリア産学官連携促進事業(発展型)	○次世代全固体ポリマーリチウム二次電池の開発	○財団法人三重県産業支援センター	工学研究科	武田保雄

(2009.04.01現在)